

文月 愛南文芸

城辺俳句会

雨晴れて四方八方夏の山
 沈下橋水煌めいて夏来る
 湧き水に喉潤して風わたる
 車座に男の子おらねど柏餅
 トロツコや四万十の峰五月鯉
 初鯉高値手を打つ競りの市
 走り梅雨アンネの像に問う平和
 妙薬のやうに憂き身を集め汁

内海俳句会

濃紫陽花郷里の移ろい忘れけり
 土用波裾まで洗う千枚田
 草の戸も更けて螢火孤を曳きぬ
 青嵐に翔く詩魂天かけぬ

城辺川柳会

「赤」
 幸せをお裾分けするお赤飯

加納 幸子

出口 恵子

宮田志賀子

大浜 紀子

山田 静恵

北原 桃代

松本 種夫

大和田いそ子

太田 信子

岩森十志子

暁

夜桜に赤い灯籠人を呼ぶ

万国旗白地に赤が誇らしい

赤提灯手招きしそうそつと見る

赤を着てみても若さは返りやせぬ

菅笠に赤い裾除け佐渡おけさ

闘牛士赤いマントを右ひだり

雨に負けず赤い鞆に夢つめて

見落した赤信号の重い付け

赤い靴ヨチヨチ歩く春の庭

童心にかえる思い出赤トンボ

ネオン街赤い灯のもと爪を研ぐ

佐賀

一会

律子

栄華

能子

あき子

ふじ子

つるみ

玉子

百代

拡

新くさの葉短歌会(なすな)

連休に帰り来し末の男孫たくましくなりゐてあかず眺める
 これからは好きな事して暮らせよと退院決まりし我に子のいふ
 焼きあがり十分前のパンの香り朝の厨に広がりてゆく
 それぞれの命ともして仄明かる夜の病院の静かなる窓
 ブロックの決まりて孫のVサイン手に汗握るバレエの試合

藤森多摩子

松比良スミ子

高橋千代子

宮下喜久子

河上 明美

はじめまして。赤ちゃん。

5月受付分(敬称略)

地区名	子の名	保護者
-----	-----	-----

ご冥福をお祈りします。

5月受付分(敬称略)

地区名	亡くなった方	享年
-----	--------	----



※上記情報は、広報誌掲載に対して、ご家族等に同意をいただいております。